

No.4

都民の「生きる」を最後まで支える、 医療・介護職のACP実践力の育成

1.0 億円程度
(事業期間3年間)

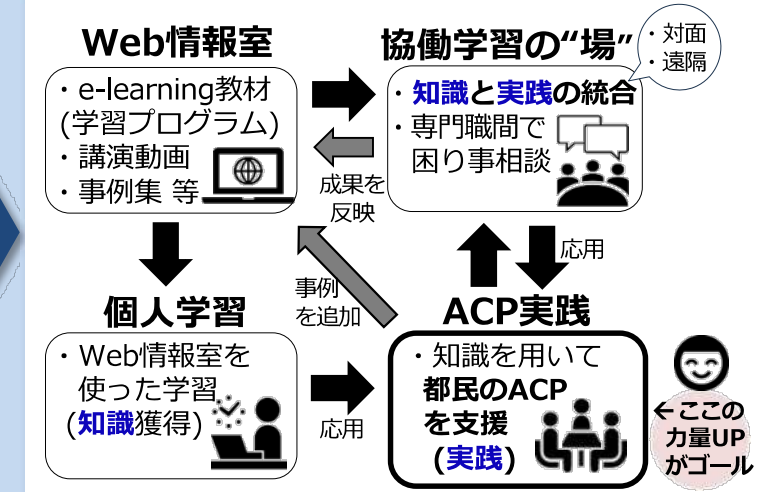
本人が意思決定できるうちに望む医療・ケアを話し合っておくこと(ACP*)は、人生の質を左右する。ACP関連情報を得られる“場”、協働学習の“場”を創り、**都民のACPを支える医療・介護職のACP実践力の育成基盤を創る。**

← 実施計画 (令和7-9年度) →

医療・介護職のACP実践力の育成基盤 (全体像)

- ✓ 望む医療・ケアの希望を示しておくこと(ACP)は、最後まで自分らしく生きるために重要です。
- ✓ しかし、都民の意思決定(ACP)を支える医療・介護職は、その支援に困難を感じています。

調査研究 (国内外)	<u>実態把握 (量的・質的調査)</u> ・ 成功・失敗事例 → 学習コース 把握 ・ ACP海外事情 など
ACP情報を得られる“場”を創る	<u>ACP情報を集約したwebサイト「Web情報室(仮)」</u> ・ ACP支援に必要な内容を掲載 ・ e-learning教材の開発
協働学習の“場”を創る	<u>専門職で行うグループ学習</u> ・ 専門職間で、課題を解決し、ACP実践から学ぶ“場” (対面、オンラインの2種)



*ACP : アドバンス・ケア・プランニング。本人が意思決定できるうちに、医療・介護職等と、望む医療・ケアを話し合うプロセス。

○実態調査をもとに、ACP情報を集約したwebサイト、協働学習の“場”を創る

- ・ 医療・介護職に、ACP実践の困難点、成功・失敗事例等の実態調査を行う。事例、講演動画、ACP関連情報を集約したwebサイト「**Web情報室(仮)**」、医療・介護職がACP実践から学ぶ「**協働学習の“場”**」を創る。

○医療・介護職が、知識をもとに経験を通じてACP実践力を高める基盤を創る

- ・ 医療・介護職が、「**Web情報室(仮)**」を活用して**ACPを個人学習**し、都民のACPを支援し(**実践**)、その実践を専門職間で**協働学習**で振り返り、**困りごとを相談**する、「**医療・介護職のACP実践力の育成基盤**」を創る。

事業実施による効果

- ・ 都民の「生きる」を最後まで支える、医療・介護職のACP実践力を高める基盤が整う。
- ・ 医療・介護職にとって、ACP実践上の課題解決の手段や“場”ができる。

令和7年度の実施内容

- ・ ACPの実施状況に関する実態調査の実施
- ・ ACPに関する情報を集約してwebサイトで発信する「ACP-web情報室（仮）」の内容検討
- ・ 専門職間で行うグループ学習に関する研修プログラムの試作及び試行実施

<実態調査結果（報告書より抜粋）>

- ・ ACPは医療・介護職には一定程度認知されACP実践への動機も高いが、**実践に結びついていない場合もある。**
- ・ ACPは関係性に基づく継続的な対応であり、**タイミングの判断や価値観の引き出し方、関係者間の調整などに困難さを感じている。**

➡ACPの推進にはACPに関する能力を高める機会を提供するような、**実践場面で応用可能な思考力を身に付けるための研修等**が重要

➡個々の実践を支えるために、**継続的に学習可能な環境や情報にアクセスできる仕組みの整備**が必要

令和8年度の実施内容（予定）

- ・ 「ACP-web情報室（仮）」の構築及び試運用
- ・ ACP実践を支援する情報提供及び教育コンテンツの整備（参考事例や実践力を学ぶ動画） 等